



## 2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月11日

上場会社名 株式会社ドーン

上場取引所 東

コード番号 2303 URL <https://www.dawn-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎正伸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼総務部長 (氏名) 近藤浩代

TEL 078-222-9700

四半期報告書提出予定日 2019年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第3四半期の業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	603	8.0	131	30.2	135	30.5	93	31.2
2018年5月期第3四半期	558	4.5	100	67.8	104	60.9	71	59.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	29.38	
2018年5月期第3四半期	22.41	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第3四半期	1,562	1,412	90.4
2018年5月期	1,509	1,333	88.3

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 1,412百万円 2018年5月期 1,333百万円

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、2018年5月期に係る総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		0.00		6.00	6.00
2019年5月期		0.00			
2019年5月期(予想)				6.50	6.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年5月期の業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	880	5.3	180	11.1	183	10.2	127	11.4	39.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3)四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	3,300,000 株	2018年5月期	3,300,000 株
期末自己株式数	2019年5月期3Q	115,983 株	2018年5月期	119,712 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	3,182,197 株	2018年5月期3Q	3,180,288 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記の予想の前提条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2018年6月1日から2019年2月28日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で米中貿易摩擦の長期化等による海外経済や金融資本市場の不確実性から景気減速の懸念が広がっており、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境につきましては、国の大規模災害に強い「国土強靱化」に向けた防災・減災対策強化の方針に基づき、安心・安全に係わる各種施策に対する公共投資は底堅く推移いたしました。

このような状況の下、当社は、防災関連のクラウドサービスの拡販に努めるとともに、地方自治体等の年度末に納期が到来する受託開発案件の履行に注力いたしました。また、当第3四半期においても、東北大学等と山岳捜索支援システム、京都大学等と千葉県柏市でAED搬送システムの実証実験を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高につきましては、地方自治体の防犯・防災関連システムの受託開発売上やクラウドサービスの利用料収入の増加により、603,550千円(前年同四半期比8.0%増)となりました。

利益につきましては、売上高の増加や、原価の低減により売上高総利益率が前年同四半期に対して5.7ポイント向上したため、営業利益131,123千円(前年同四半期比30.2%増)、経常利益135,811千円(前年同四半期比30.5%増)、四半期純利益93,491千円(前年同四半期比31.2%増)となりました。

なお、当社事業は顧客の決算期が集中する3月に売上計上される受注が多いため、第4四半期会計期間に売上高が偏重する傾向にあることから、各四半期の業績に季節変動があります。

また、当社は地理及び位置情報事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、1,562,194千円となり、前事業年度末と比較して52,347千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が331,721千円減少した一方で、金銭の信託が200,000千円、売掛金が113,162千円、仕掛品が38,493千円、投資有価証券が23,386千円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、149,635千円となり、前事業年度末と比較して26,303千円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が19,300千円増加した一方で、未払法人税等が16,652千円、未払消費税等が6,108千円、固定負債のその他が12,230千円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、1,412,559千円となり、前事業年度末と比較して78,651千円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が74,409千円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の業績予想に関する事項につきましては、2018年(平成30年)7月9日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,043,539	711,817
売掛金	79,177	192,339
有価証券	50,030	58,115
金銭の信託	-	200,000
商品	-	12
仕掛品	589	39,083
貯蔵品	4,062	4,164
その他	19,644	17,352
貸倒引当金	△79	△192
流動資産合計	1,196,962	1,222,692
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,491	4,372
工具、器具及び備品(純額)	2,376	5,783
有形固定資産合計	5,868	10,156
無形固定資産		
ソフトウェア	1,099	3,453
無形固定資産合計	1,099	3,453
投資その他の資産		
投資有価証券	269,166	292,552
その他	36,749	33,339
投資その他の資産合計	305,915	325,891
固定資産合計	312,883	339,501
資産合計	1,509,846	1,562,194

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,527	16,952
未払法人税等	35,186	18,534
未払消費税等	15,162	9,053
賞与引当金	-	19,300
その他	51,360	41,322
流動負債合計	119,237	105,163
固定負債		
長期未払金	27,430	27,430
その他	29,271	17,041
固定負債合計	56,701	44,471
負債合計	175,939	149,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,950	363,950
資本剰余金	353,450	358,313
利益剰余金	625,714	700,123
自己株式	△11,544	△11,276
株主資本合計	1,331,569	1,411,110
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,338	1,448
評価・換算差額等合計	2,338	1,448
純資産合計	1,333,907	1,412,559
負債純資産合計	1,509,846	1,562,194

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)
売上高	558,885	603,550
売上原価	246,605	231,665
売上総利益	312,280	371,885
販売費及び一般管理費	211,598	240,761
営業利益	100,681	131,123
営業外収益		
受取利息	88	86
受取配当金	14	16
有価証券利息	2,404	2,098
助成金収入	745	2,380
その他	106	106
営業外収益合計	3,359	4,687
経常利益	104,040	135,811
特別損失		
固定資産除却損	275	0
特別損失合計	275	0
税引前四半期純利益	103,765	135,811
法人税等	32,481	42,320
四半期純利益	71,284	93,491

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。